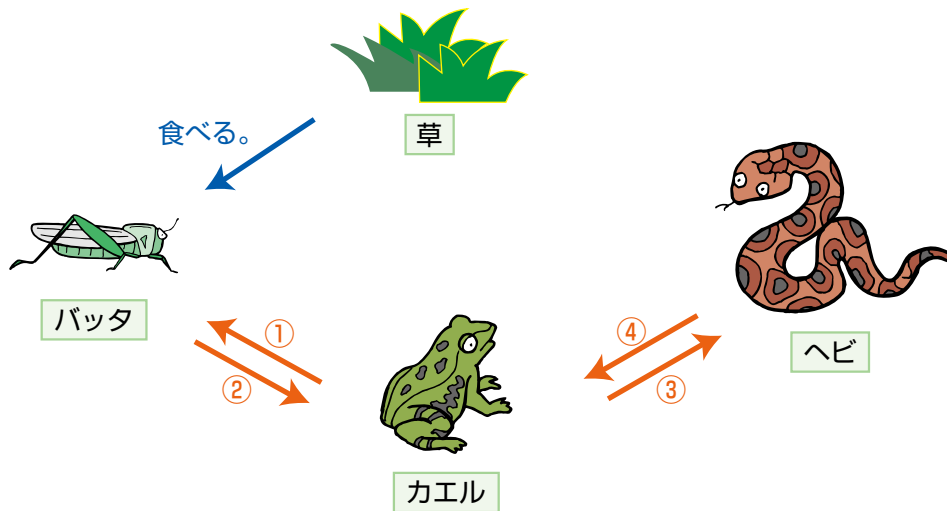


- ② 下の図は、草・バッタ・カエル・へびの間の食べるものと食べられるものの関係を矢印で表したものです。これについて、以下の各問いに答えなさい。




- (1) 草・バッタ・カエル・へびのうち、自分で養分を作ることができる生き物はどれですか。「草」・「バッタ」・「カエル」・「へび」の中から1つ選び、書きなさい。

()

- (2) 上の図の①～④の矢印のうち、食べることを表す矢印を2つ選び、番号を書きなさい。ただし、矢印の根元が食べられるもの、矢印の先が食べるものを表すとします。

()

-  (3) 図の4種類の生き物の数のつり合いがとれている地域ちいきがあります。この地域のカエルの数が急に半分に減ったあとに、バッタの数とへびの数は、それぞれどのように変化すると考えられますか。次のア～オの中から1つずつ選び、記号を書きなさい。

- ア どんどん増え続ける。 イ はじめは増えるが、やがて減ってくる。
 ウ どんどん減り続ける。 エ はじめは減るが、やがて増えてくる。
 オ まったく変化しない。

バッタ () へび ()